

協議会名称	大牟田市子どもの居場所等連絡協議会			
代表者名	西山 光良(大牟田市教育委員会生涯学習課青少年担当課長)			
協議会事務局	大牟田市昭和町223 大牟田市教育委員会生涯学習課 0944-52-5285 (E-mail) shogaigakushu01@city.omuta.lg.jp (HPアドレス) http://www.city.omuta.lg.jp/			
対象地域	大牟田市全域			
協議会の構成	アンビシャス広場3、運動参加団体20、1市			
協議会の概要	大牟田市子どもの居場所等連絡協議会は、市内のアンビシャス広場、本市が独自に取り組んでいる子どもの居場所実行委員会、アンビシャス運動参加団体及び大牟田市により構成されています。今年度は、各団体の交流を深め意見交換を行う情報交換会を4回開催したほか、居場所の大切さ、重要性を改めて考えるための研修会を開催しました。さらに、各団体の特徴を活かした子どもの体験活動を提供する取組みを野外と室内とで2回開催しました。			
主な活動内容	体験活動	(月 日)	(場 所)	(内 容)
		11月29日	延命公園	子どもの体験活動(竹とんぼ・紙玉てっぽうづくり、ぶんぶんごまづくり、竹ぽっくりづくり、ペットボトルロケット飛ばし、スポーツチャンバラ体験、ダブルダッチ体験、フランクフルト・クッキー・ドリンク販売バザー、カレー販売バザー)
		3月7日	フレンズピアおおむた	わくわく! 子どもまつり(パソコンでカレンダー作り、折り紙体験、ちくわ作り、スポーツチャンバラ体験、すごろくカルタ、フラダンス体験、おはなし会、劇遊び、お手玉を作って遊ぼう、ふれあい映画会、だご汁バザーなど)
	交流会	5月23日	フレンズピアおおむた	情報交換会(各団体の紹介、意見交換)
		9月12日	フレンズピアおおむた	情報交換会(各団体の特徴的な取組み状況の紹介等)
		9月12日	フレンズピアおおむた	研修会(テーマ:なぜ今居場所なのか)
		12月12日	フレンズピアおおむた	情報交換会(体験活動報告、通学合宿実施報告)
3月		フレンズピアおおむた	情報交換会	
その他	本市全域への広報として、アンビシャス広場及び子どもの居場所のスケジュールを毎月配布。各団体の取組み状況を紹介した「あったか広場通信」を年3回発行。			



研修会



竹ぽっくりを作って遊ぼう

取材日記

平成18年に始まった『プレーパーク』。当初の参加団体は数える程でしたが今では10以上に増え、“自分の責任で自由に遊ぶ”という考えに基づいて開催しています。

平成21年11月29日(日)の延命公園のお花見広場一帯は、興味をひく催しが盛りだくさん。体験コーナーの一角には竹細工のおもちゃが、所狭しと並んでいます。子どもたちは見るのも作るのも初めてで、出来上がったこまの糸を両手で引っ張った途端、「ぶんぶん言ってる…あー、だから“ぶんぶんごま”なんだあ!」と納得した様子。また、縄を編んで作ったモンキーブリッジは揺れ具合が大きくて、誰も後ろにいないのに「もー、揺らさんでえ。」などと、怖がる子どもたち。ペットボトルロケットは最高20m近く飛ぶものもある一方で、高さ滞空時間の割には飛距離がはず、「上に飛んだだけやん。」と、がっかりする声も聞かれます。

ダブルダッチ(縄を2本使う縄跳びの一種)やパン焼き、縄ブランコにスポーツチャンバラなど、50名以上の子どもたちが色々なゲームに目移りしながら楽しんでいました。

このモットーは『ケガと弁当は自分持ち』。ケガしたり、人に迷惑かけたりはどうしても発生しがちです。それらの経験の中から、人と助け合うことや危険から身を守る知恵をどうやって学ばせていくか、試行錯誤を続けながらも漸進していきたいとのことです。

